



たばこ

禁煙は百利あって一害なし

たばこは、がん、心臓病、脳血管疾患、呼吸器疾患などの発症に関連があるほか、低出生体重児などの危険因子となっています。本人のみならず、周囲の人々にも受動喫煙による健康への悪影響があることが指摘されています。

妊産婦期・乳幼児期

たばこ

めざすべき姿
たばこの煙は吸わない、吸わせない

個人の取り組みの方向

妊娠中、出産後は禁煙しましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

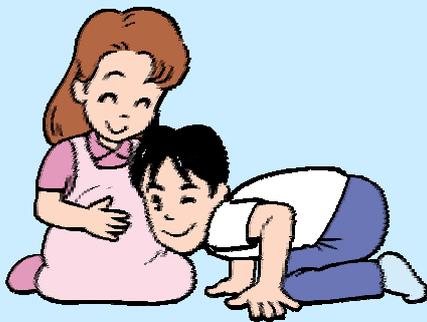
妊産婦期

夫・家族に対して、喫煙が及ぼす妊婦・胎児への影響について指導・情報提供

医療従事者による指導・認識が重要（初診時にチェックを受け、妊娠前期に禁煙が徹底できればスムーズに止められ、アフターケアもできる）

乳幼児期

子どものいるところでたばこを吸わないよう、家庭内での禁煙・分煙の普及啓発



目標項目（指標）

妊娠中の喫煙率の減少

対象

妊婦

現状値

0.5%

目標値

0%

めざすべき姿
たばこは、絶対だめだと言える子ども

個人の取り組みの方向

家庭で禁煙教育を行いましょう
喫煙が体に及ぼす影響について知りましょ
未成年は絶対に喫煙をしないようにしましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

学校での禁煙教育の推進
(喫煙が社会でどういう認識がもたれているかという点まで含めた指導)
教職員は、子どもの前で喫煙しない
未成年に喫煙の機会を与えないような地域づくり
家庭での子ども・親を含めた禁煙教育の充実

目標項目(指標)	対象	現状値	目標値
たばこが体に及ぼす影響を知っている人の割合の増加			
・肺がん	中学生	94.6%	100%
	高校生	97.1%	100%
・喘息(ぜんそく)	中学生	37.2%	100%
	高校生	29.8%	100%
・気管支炎	中学生	47.4%	100%
	高校生	54.4%	100%
・心臓病	中学生	23.9%	100%
	高校生	16.4%	100%
・脳卒中	中学生	21.8%	100%
	高校生	14.0%	100%
・胃潰瘍	中学生	14.5%	100%
	高校生	8.2%	100%
・妊娠に関連した異常	中学生	58.9%	100%
	高校生	77.8%	100%
・歯周病	中学生	32.9%	100%
	高校生	18.1%	100%
未成年者の喫煙したことがある人の割合の減少	中学生男子	10.9%	0%
	中学生女子	5.8%	0%
	高校生女子	10.6%	0%

めざすべき姿
禁煙・分煙の完全実施

個人の取り組みの方向

家庭や職場、公共の場では、禁煙・分煙に取り組みましょう
喫煙が体に及ぼす影響について知ましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

公共の場での禁煙・分煙の徹底
禁煙希望者のために、医療機関や薬局での禁煙サポートなどの指導・啓発
義務的ではなく、健康上の必要性から禁煙できるような情報提供
禁煙・分煙の取り組みや活動の支援

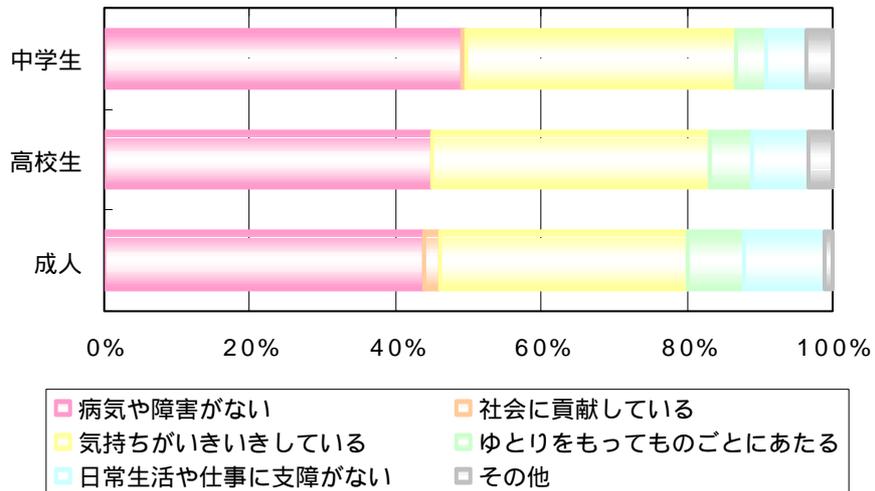
目標項目（指標）	対象	現状値	目標値
たばこが体に及ぼす影響を知っている人の割合の増加			
・肺がん	成人	97.1%	100%
・喘息（ぜんそく）	成人	56.7%	100%
・気管支炎	成人	67.6%	100%
・心臓病	成人	36.5%	100%
・脳卒中	成人	25.5%	100%
・胃潰瘍	成人	20.4%	100%
・妊娠に関連した異常	成人	72.0%	100%
・歯周病	成人	16.6%	100%
職場で禁煙や分煙を実施している割合の増加	成人	59.7%	100%



TOPICS

健康ってなに？ ～「病気や障害がない」「気持ちがいきいきしている」～

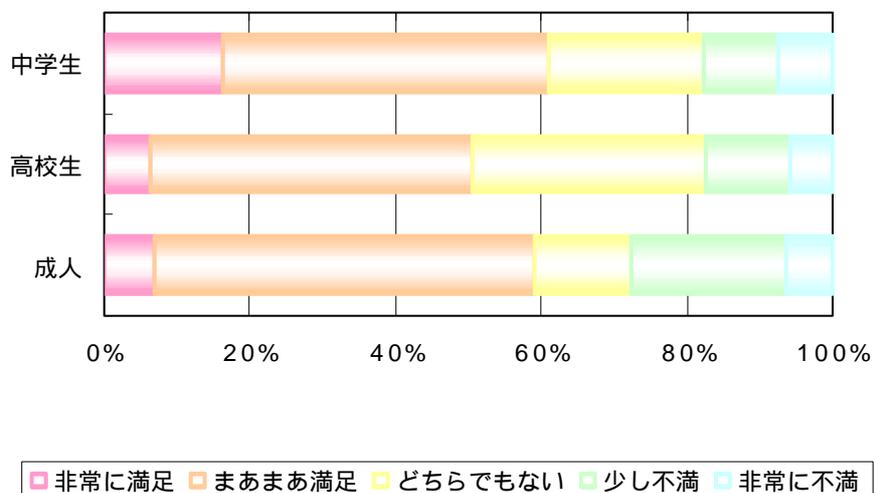
成人、高校生、中学生ともに「病気や障害がない」と答えた人の割合が4割以上と最も高くなっています。



出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21アンケート調査結果

健康状態の満足度は？ ～5割以上は満足～

自分の健康状態の満足度については、満足と答えた人の割合が中学生、成人では約6割となっており、高校生では約5割となっています。不満と答えた人の割合が成人では3割弱となっています。



出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21アンケート調査結果